

## 「献血推進 2020」の結果について

## 1. 経緯

少子高齢社会化が進む中、血液の安定した供給体制を構築するため、平成 22 年度に設定した「献血推進 2014」の結果及び日本赤十字社が実施した血液需給将来推計シミュレーションの結果等を踏まえ、令和 2（2020）年度までの達成目標を設定し、献血推進を行ってきた。

## 2. 「献血推進 2020」の令和 2 年度までの実績

項目	目標	平成 27 年度 (2015 年)	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
若年層の献血者数の増加	10 代の献血率を 7.0%まで増加させる	5.4%	5.2%	5.3%	5.4%	5.5%	4.2%
	20 代の献血率を 8.1%まで増加させる	6.5%	6.2%	5.7%	5.6%	5.7%	5.5%
	30 代の献血率を 7.6%まで増加させる	6.0%	5.8%	5.4%	5.3%	5.5%	5.6%
安定的な集団献血の確保	集団献血等に協力いただける企業・団体を 60,000 社まで増加させる	53,316 社	54,696 社	56,151 社	57,781 社	59,280 社	60,854 社
複数回献血の増加	複数回献血者を年間 120 万人まで増加させる	967,142 人	954,067 人	944,962 人	949,140 人	983,351 人	1,024,863 人
献血の周知度の上昇	献血セミナーの実施回数(年間)を 1,600 回まで増加させる	1,211 回	1,772 回	2,094 回	2,150 回	1,950 回	908 回

### 3. 献血推進2020の結果

- ・若年層の献血者数の増加：令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、特に10代は学校献血の減少により大幅に減少した。
- ・安定的な集団献血の確保：集団献血等に協力いただける企業・団体の数は毎年増加し、令和2年度に目標を達成した。
- ・複数回献血の増加：平成30年度から増加に転じ、令和2年度では100万人を超えたが、目標には届かなかった。
- ・献血の周知度の上昇：平成28年度から4年間、目標値を超えていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から献血セミナーを実施するのが難しく、目標を達成できなかった。